

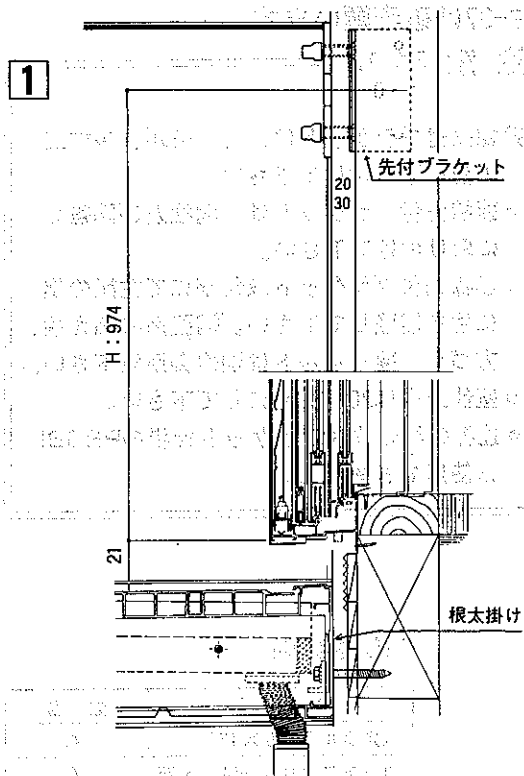
プロシード

このファイルには
で困った部分が掲載
されています。

プロシード	9
規格表・梱包明細	10
姿図	14
パネルバリエーション	16
構成図	17
基本寸法図・納まり図	19
ウイングタイプ	27
先付けブラケット	27
単体用	27
連棟用	28
戸袋調整用	30
本体の取付け	34
軒天	44
戸袋調整を使用する場合	45
柱式バルコニー	53
(柱建て、屋根置き、ガーデン、ガーデンデッキ)	
本体の取付け(デッキ材の取付けまで)	53
ネオテラスを接続する場合	68
戸袋調整を使用する場合	72
本体の取付け(続き)	74
軒天	80
物干し(自在式・ウイングタイプ共用)	83
出幅調整材(屋根置きタイプ用)	84
根太掛け取付けスペースが狭小の場合	
前面扉・扉移動	88
ウッディーデッキ	92
軒天	95
柱移動	99
特殊納まりについて	103
躯体入隅部直付納まり	103
2段バルコニー	125
出隅	129
柱移動	142
入隅	159
出幅違い連棟	173

※ ウイングタイプの取付順序 ※

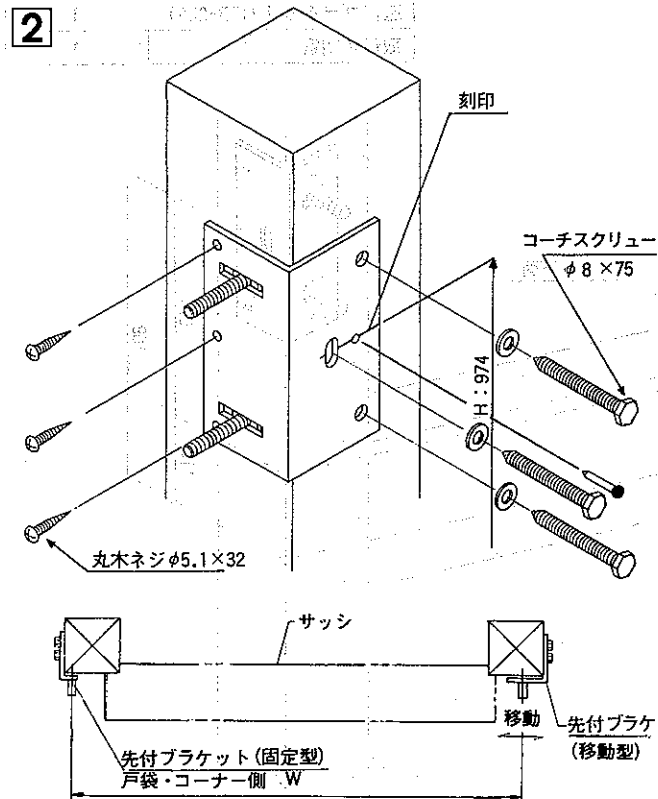
■ 先付ブラケットの取付(単体)



注意事項

※ 先付ブラケットは、外壁モルタル施工の前に取り付けて下さい。

- 1 サッシの下面より 974mmの高さに躯体柱の外側に左右各1ヶ所ずつつけがき線を入れて下さい。
(参)この時、サッシの下面とデッキ材上面の寸法が21mmの納まりになります。
- 2 先付ブラケットを取り付けます。
先付ブラケットの刻印をつけがき線に合わせ、釘(別途)で仮止めしてコーチスクリューで固定して下さい。次に先付ブラケットの上下にあいている穴に木ネジを必ず固定して下さい。
※先付ブラケットの小さい方(固定型)は戸袋あるいはコーナー側に、大きい方(移動型)は、その反対側になるように取り付けて下さい。



● Wの寸法表

間別	W 寸法		
	1間	1.5間	2間
関東間	1,868	2,777	3,686

● 内容明細

名称	製品記号	
	PBSB 1	PBSB 2
先付ブラケット(固定型)	1	—
先付ブラケット(移動型)	1	2
先付ブラケットネジ持ち	1	2
コーチスクリュー(φ8×75)	6	6
M 8用ワッシャー	6	6
丸木ネジφ5.1×32	3	6

● 先付ブラケット用途別一覧表

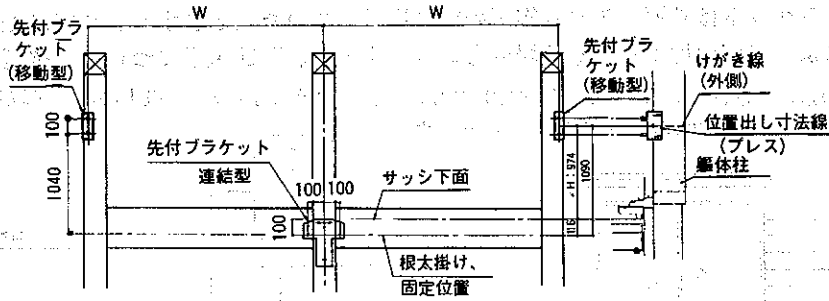
柱角寸法(mm)	壁仕上げ寸法(mm)	製品記号(関東間)
90	20~30	PBSB 1
105		
120	20~30	PBSB 2

●先付ブラケットの基準取付け方法

ブラケット仕様

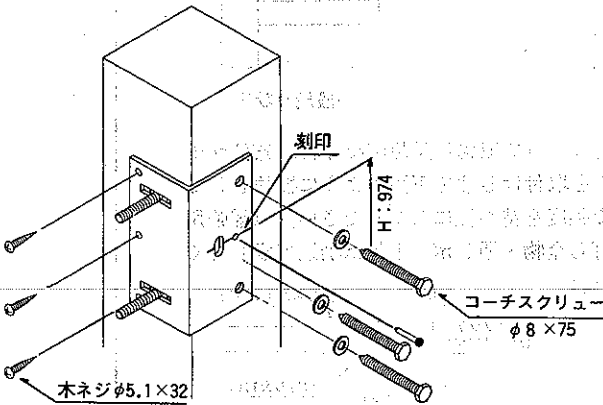
柱	間口	W		
		1.0	1.5	2.0
90	関東間			
105	関東間	1843	2752	3661
120	関東間			

(表 1)

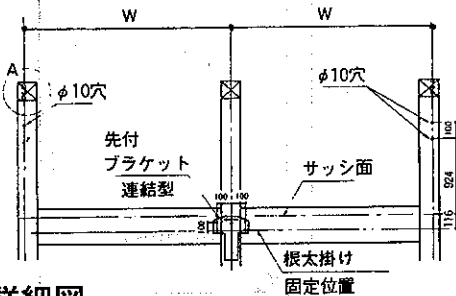


1 根太掛け、固定位置より1090mmの高さに躯体柱の外側に左右各1ヶ所ずつけがき線を入れて下さい。
(参)この時、サッシ下面とデッキ材上面の寸法が21mmの納まりになります。

2 先付金具を取り付けます。
先付金具の刻印をけがき線に合わせ、釘(別途)で仮止めしてコーチスクリューで固定して下さい。
次に先付金具の上下にあいている穴に木ネジを必ず固定して下さい。

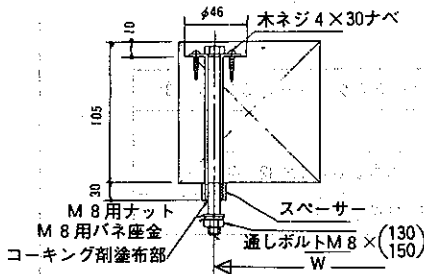


通しボルト仕様



A部詳細図

コーキング剤を下図の様に充填して下さい。



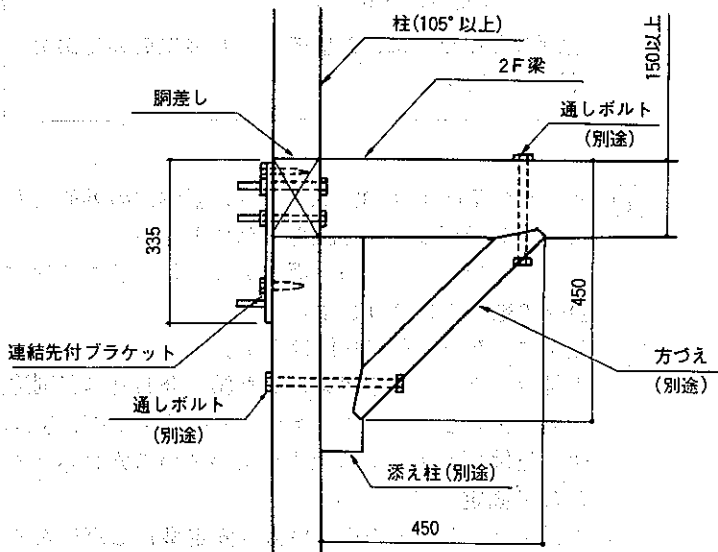
1 根太掛け、固定位置より、1040mm及び1140mmの高さで左右各2ヶ所ずつφ10mmの通し孔をあけて下さい。

2 躯体柱の室内側をφ46mm、深さ10mmにザクリして下さい。
ザクリした所に先付け通しボルトを木ネジで固定して、次にスペーサーを差し込んで六角ナットを取り付けて下さい。
W寸法は表1を参照下さい。

通しボルトを取付後、スペーサー、バネ座金、ナットを、必ず差し込んで下さい。

■ 先付ブラケットの取付(連棟)

● 連棟部柱補強



連棟用ブラケットZBSR内の取付説明書
ME-37は破棄願います。

注意事項

連棟先付ブラケットは、外壁モルタル施工の前に取り付けて下さい。

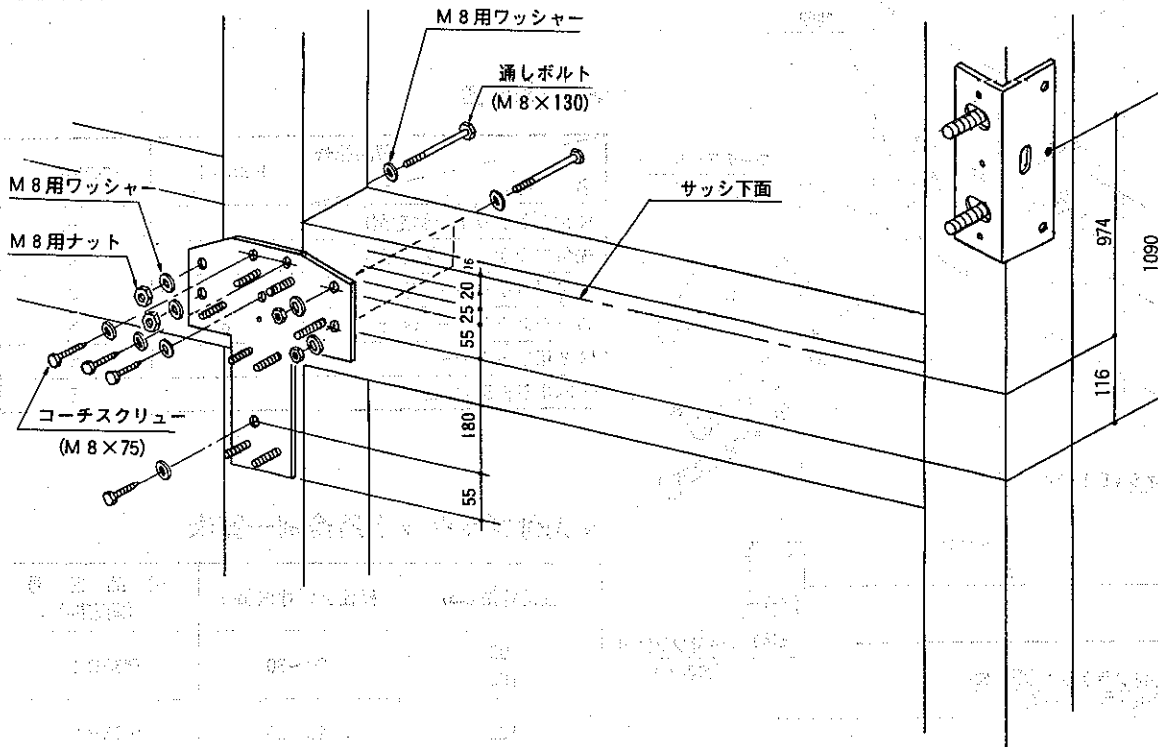
- 連棟先付ブラケットは、間柱及び胴差しに取り付けて下さい。
- 連棟先付ブラケット取付部にて左記の様に柱を補強して下さい。(補強用の添え柱、方づえ、通しボルトは別途御用意下さい。)
- 壁仕上厚は20~30mmして下さい。
- 連棟の場合先付ブラケット仕様のPBSBIは使用できません。

● 連棟先付ブラケットの取付け

連棟先付ブラケットを通しボルト及び、コーチスクリューで柱及び胴差しに固定して下さい。

● 内容明細

名 称	数 量
六角ボルトM 8×130	4
コーチスクリューM 8×75	4
M 8用ワッシャー	12
M 8用ナット	4
連棟ブラケット(EB-285)	1
取付説明書	1

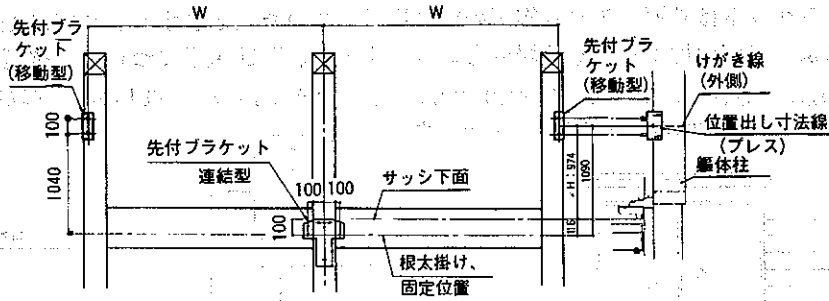


●先付ブラケットの基準取付け方法

ブラケット仕様

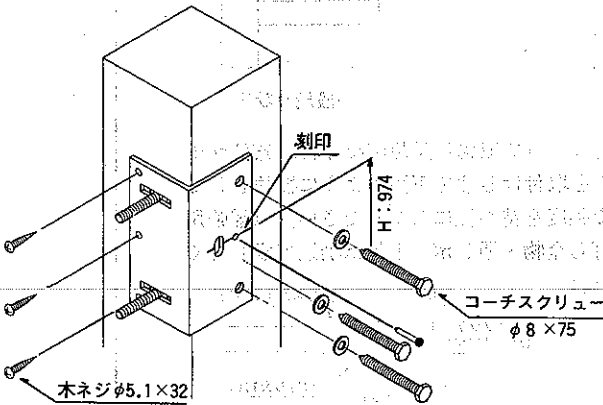
柱	間口	W		
		1.0	1.5	2.0
90	関東間			
105	関東間	1843	2752	3661
120	関東間			

(表 1)

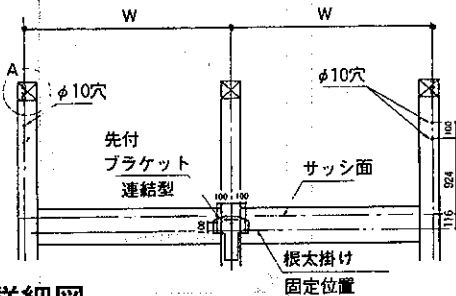


1 根太掛け、固定位置より1090mmの高さに躯体柱の外側に左右各1ヶ所ずつけがき線を入れて下さい。
(参)この時、サッシ下面とデッキ材上面の寸法が21mmの納まりになります。

2 先付金具を取り付けます。
先付金具の刻印をけがき線に合わせ、釘(別途)で仮止めしてコーチスクリューで固定して下さい。
次に先付金具の上下にあいている穴に木ネジを必ず固定して下さい。

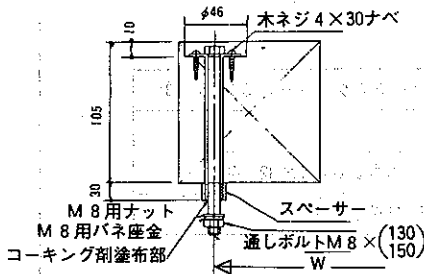


通しボルト仕様



A部詳細図

コーキング剤を下図の様に充填して下さい。



1 根太掛け、固定位置より、1040mm及び1140mmの高さで左右各2ヶ所ずつφ10mmの通し孔をあけて下さい。

2 躯体柱の室内側をφ46mm、深さ10mmにザクリして下さい。
ザクリした所に先付け通しボルトを木ネジで固定して、次にスペーサーを差し込んで六角ナットを取り付けて下さい。
W寸法は表1を参照下さい。

通しボルトを取付後、スペーサー、バネ座金、ナットを、必ず差し込んで下さい。

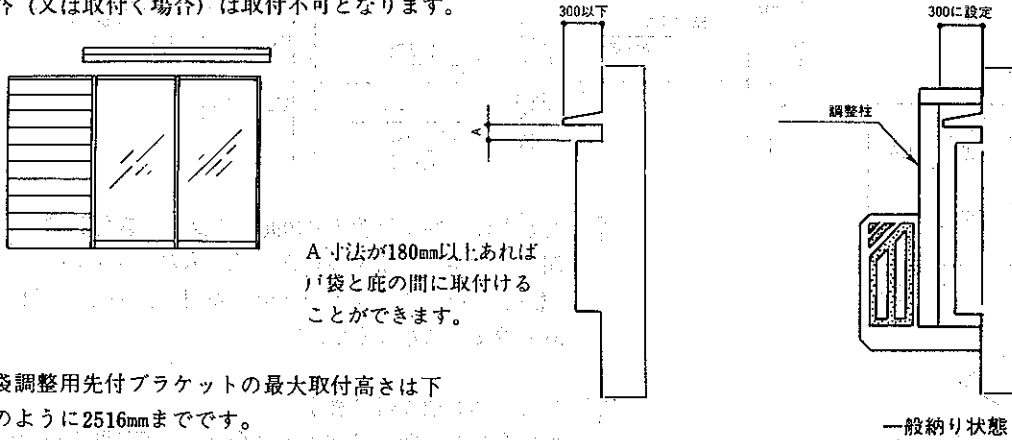
■ 戸袋調整用先付ブラケットの取付

● 先付ブラケットの取付施工上の注意

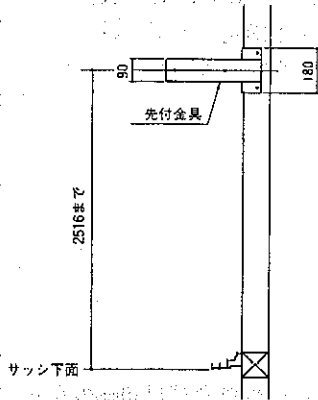
ウイングタイプは先付仕様です。

先付ブラケットは外壁モルタル施工の前に取付けていただきますが、戸袋調整は、まわりの状況によっては取付不可となる場合もありますので、下記項目について、確認してください。

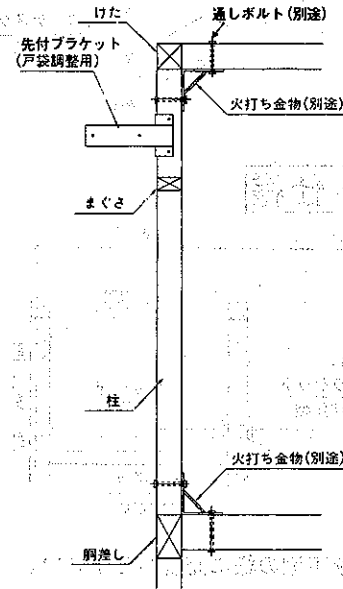
- ① 戸袋の逃げ寸法300mm（雨戸4枚建まで）です。下図のように小庇が300以上の出幅で取付いている場合（又は取付く場合）は取付不可となります。



- ② 戸袋調整用先付ブラケットの最大取付高さは下図のように2516mmまでです。



- ③ ①、②について確認し問題がなければ先付ブラケットを取付ける柱を下図のように補強をして十分な強度を持つ柱にしてください。（補強用の火打ち金物・通しボルト等は別途用意してください。）



- ④ 外壁モルタル仕上厚は20～30mmにしてください。

● 梱包明細

壁厚20%用 30%用	PBSB 3	先付ブラケット(移動) ① 先付ブラケットネジ持ち ① コーチスクリューφ8×75 ③
		丸木ネジφ5.1×32... M8用ワッシャー ③
		先付ブラケット(戸袋調整用) ① 通しボルトM8×130 ② 木ネジφ4.1×32 ④
		M8用ナット ② M8用ワッシャー ② 取付説明書... (ME-155) ①

● 単 体

- ① 高さ方向は図-1のように先付ブラケット(移動型)はサッシ下面より、ブラケット中心までを974mmの位置に取り付けてください。先付ブラケット(戸袋調整用)は、サッシ下面よりブラケット中心までを2516mm以下で金具の下面が戸袋上部にあたらない位置に設定してください。

注) この時サッシ下面とデッキ材上面の寸法が21mmの納まりになります。

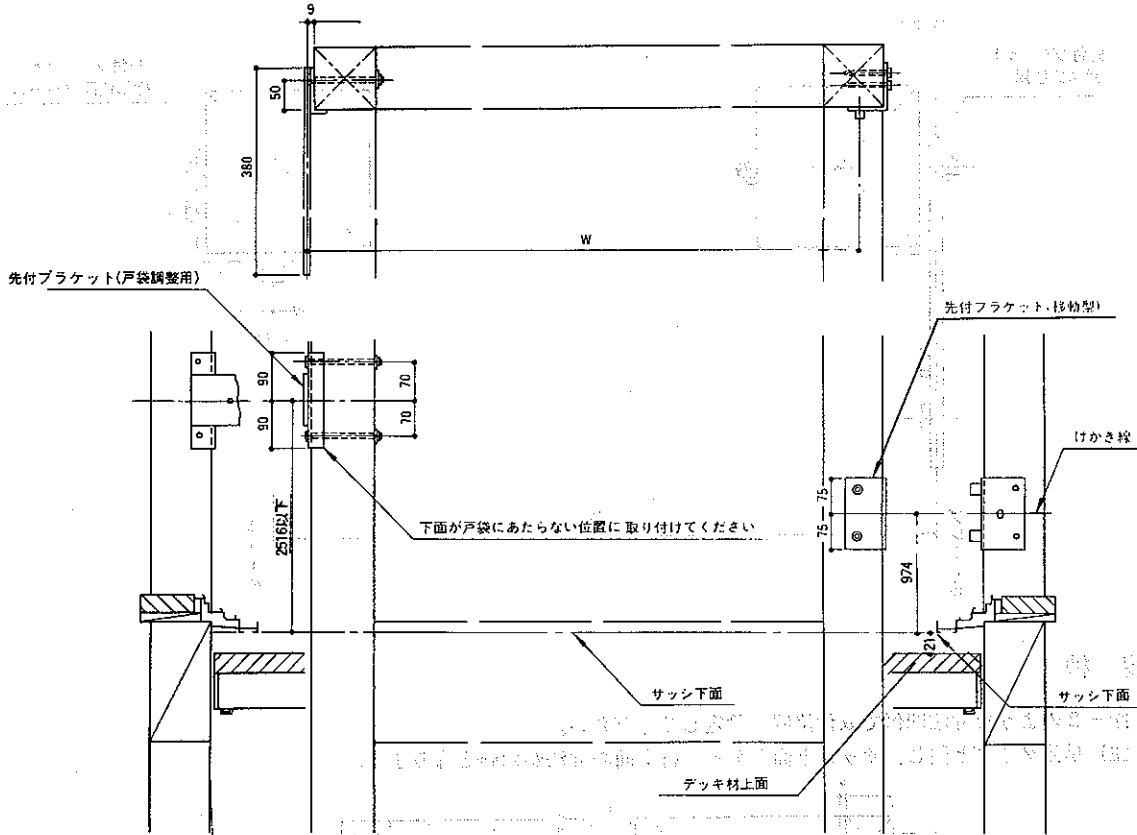
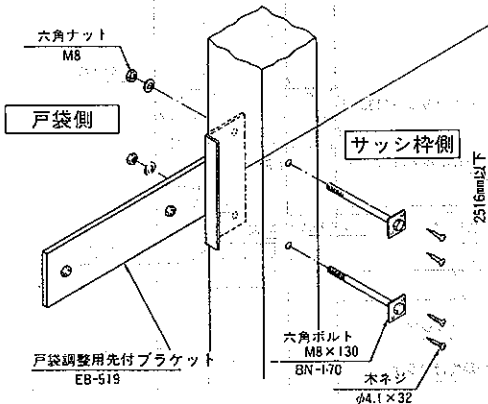


図-1

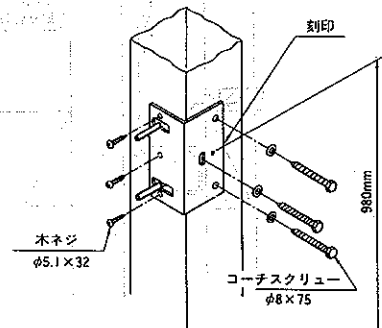
- ② 先付ブラケットを取付ける。

先付ブラケット(戸袋調整用)



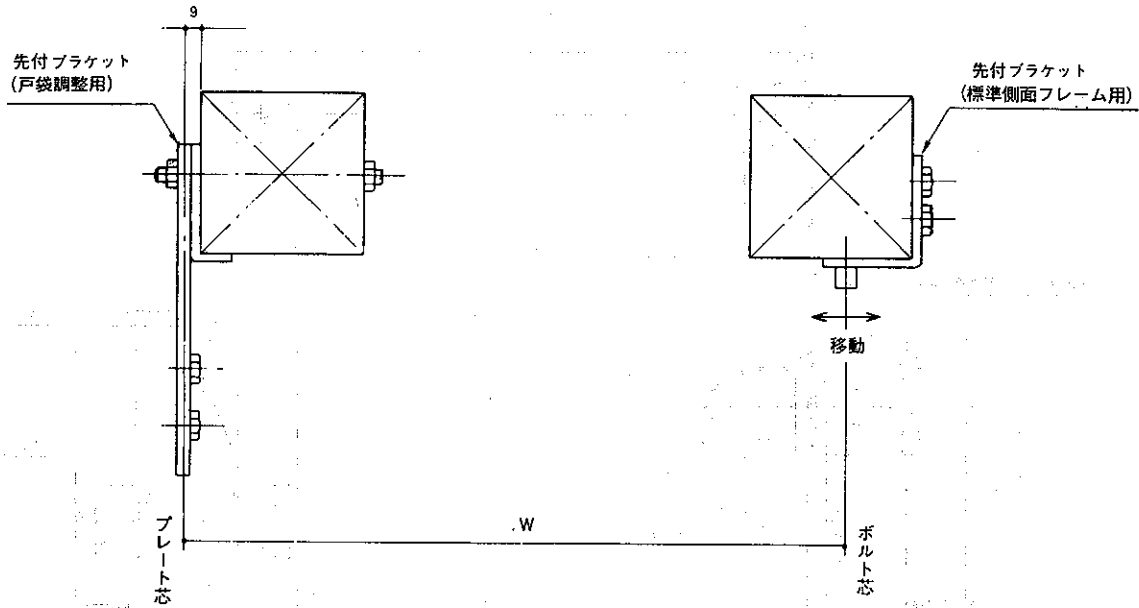
先付ブラケット(移動型)

下図の要領で、コーテックスクリューで取付けてください。次にブラケットの上下にあいている孔に木ネジを必ず固定してください。



③ 躯体柱に固定後、先付ブラケットの取付ネジ移動し、寸法表に合わせてW寸法の調整をしてください。

柱径	間口	W		
		1.0間	1.5間	2.0間
90°・105°・120°	関東間	1888	2797	3706



● 連棟

① 図-2のような寸法関係で取付位置を設定してください。

注) 単体タイプと同じ、サッシ下面とデッキ材上面の寸法が21mmとなります。

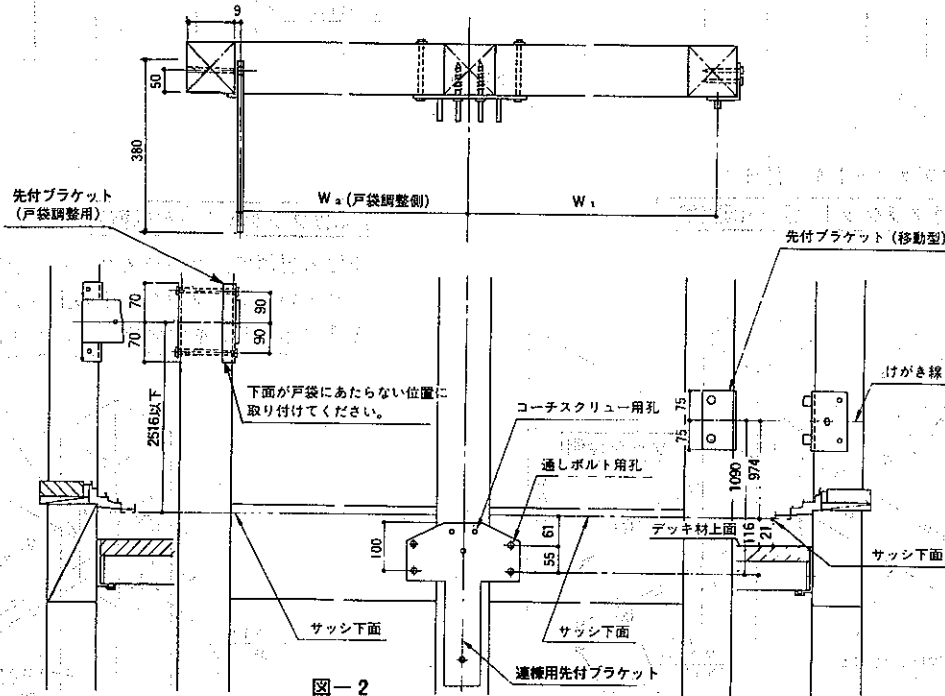
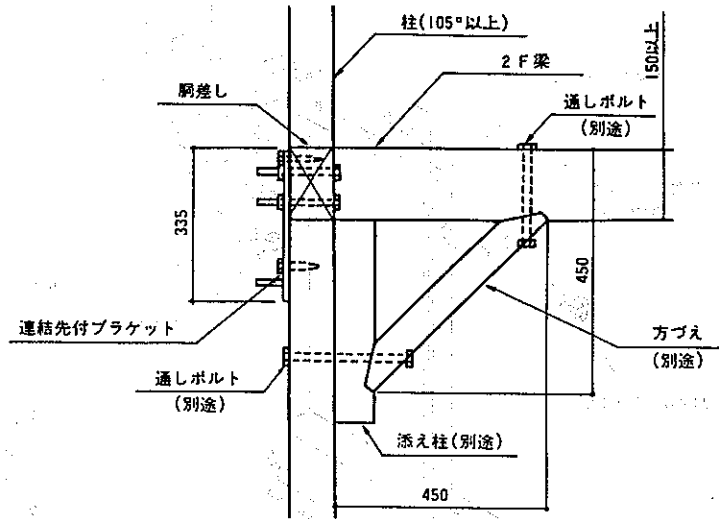


図-2

② 先付ブラケット、連棟用先付ブラケットを取付けます。

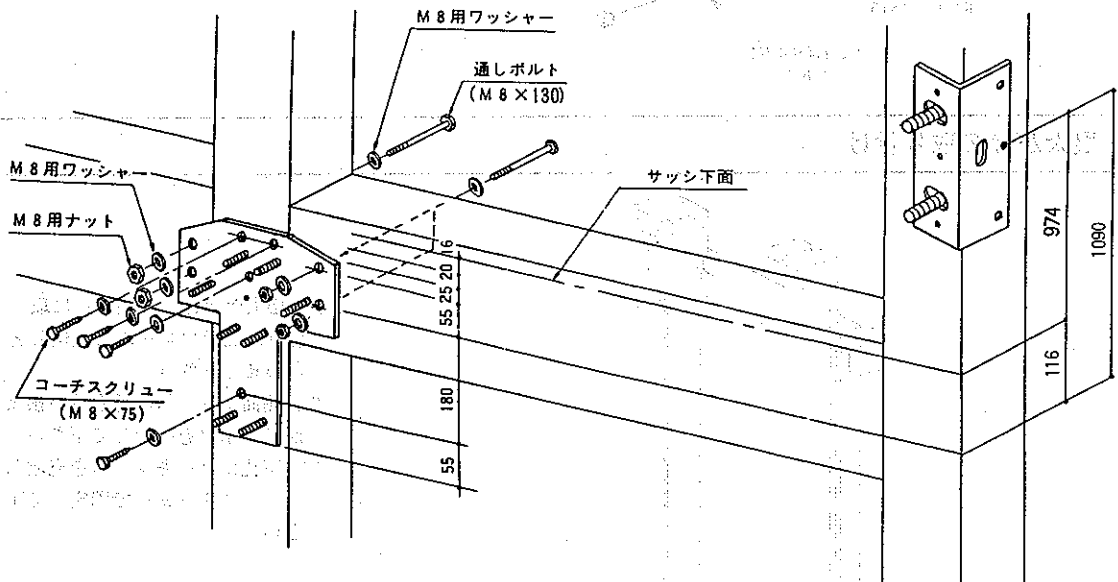
注) ただし、先付ブラケット(戸袋調整用)は連棟タイプでは柱の大きさに関係なく内側(戸袋側)の面に取付けます。

● 連結部柱補強



● 連棟先付ブラケットの取付け

連棟先付ブラケットを通しボルト及び、コーチスクリューで柱及び胴差しに固定して下さい。

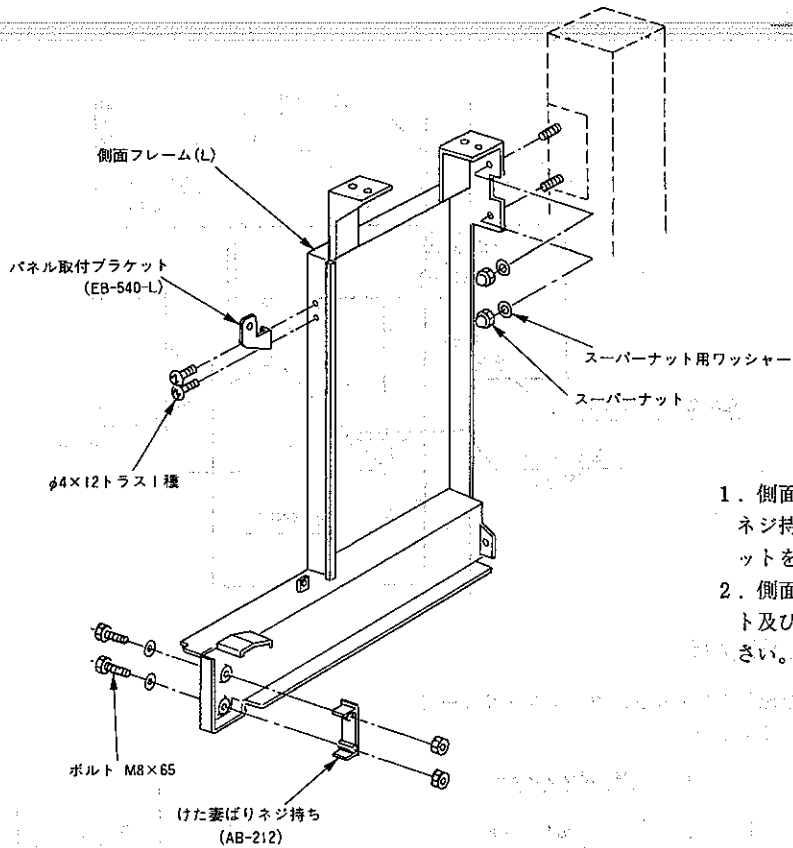


③ 躯体に固定後、先付ブラケットの取付ネジを移動し、寸法表に合わせてW₂の寸法確認とW₁の寸法調整をしてください。

柱°	間口 間別	W ₂ (戸袋調整側)			W ₁ (標準側面フレーム側)		
		1.0間	1.5間	2.0間	1.0間	1.5間	2.0間
90°	関東間	1764	2673	3582			
105°	関東間	1756.5	2665.5	3574.5	1843	2752	3661
120°	関東間	1749	2658	3567			

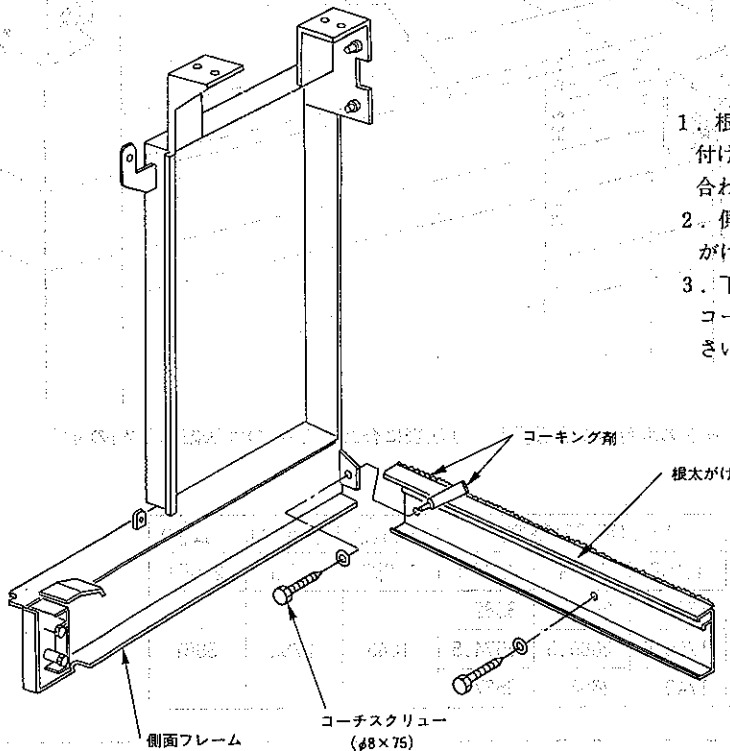
■単体仕様の取付け

1 側面フレームの取り付け



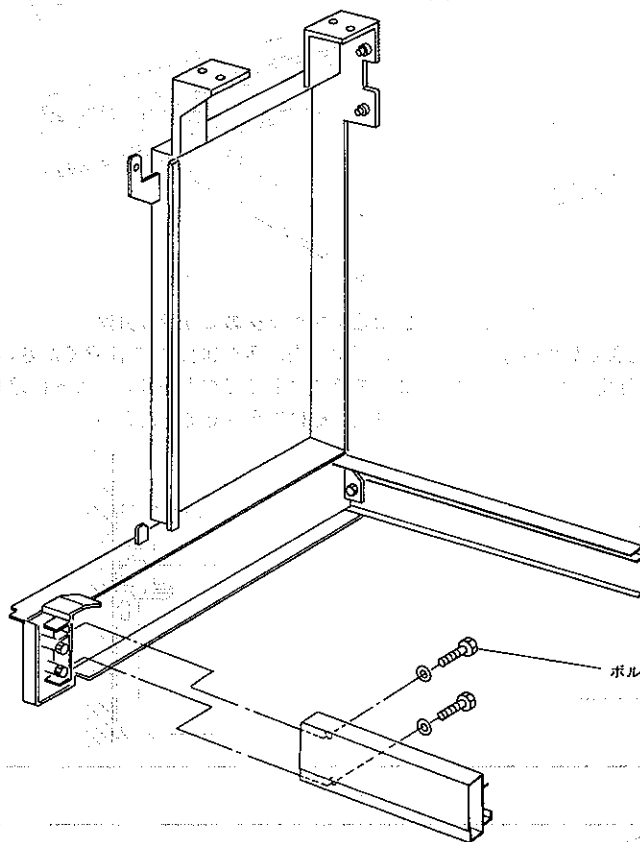
1. 側面フレームにけた、妻ばりネジ持ち及びパネル取付ブラケットを取り付けて下さい。
2. 側面フレームをスーパーナット及びワッシャーで固定して下さい。

2 根太がけの取り付け

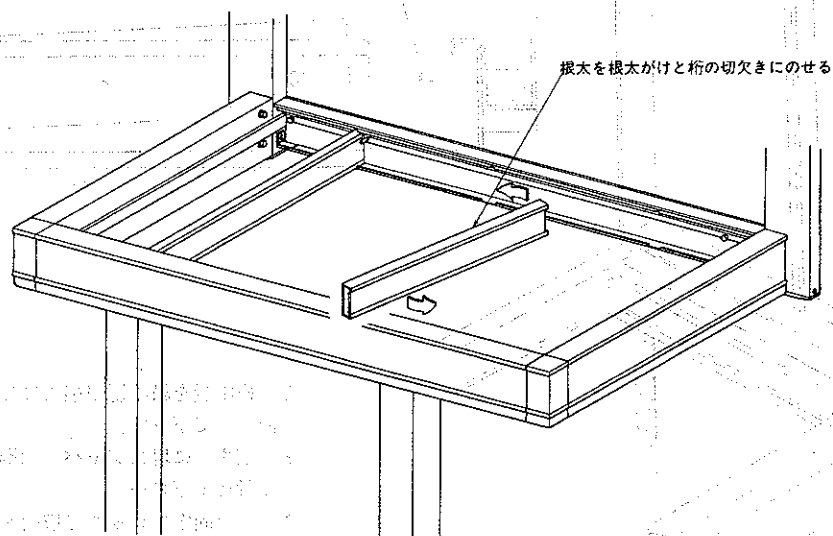


1. 根太がけは、左図の様に取付け、側面フレームの孔位置と合わせて下さい。
2. 側面フレームの垂直及び根太がけの水平を確認して下さい。
3. 下孔にコーキング材を充填し、コーチスクリューで固定して下さい。

3 桁の取り付け

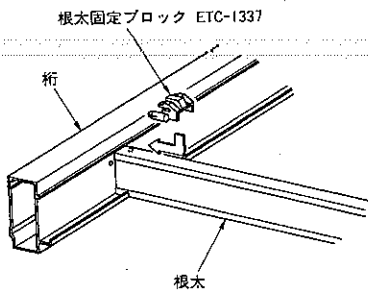


4-1 根太の取り付け



4-2 根太の取り付け

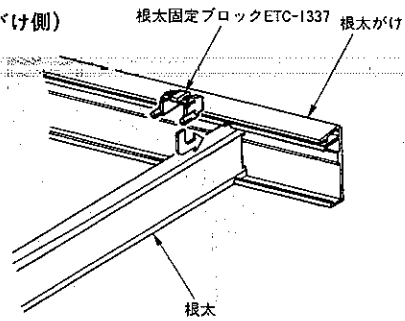
(桁側)



根太固定ブロックの取り付け方法

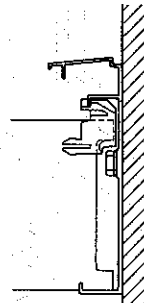
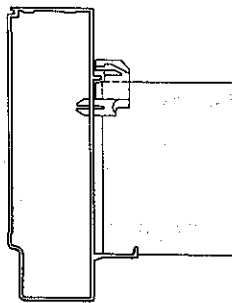
1. 根太に嵌め込む(向きにご注意ください。)
2. スライドさせて桁の根太取付孔に差し込む。

(根太がけ側)

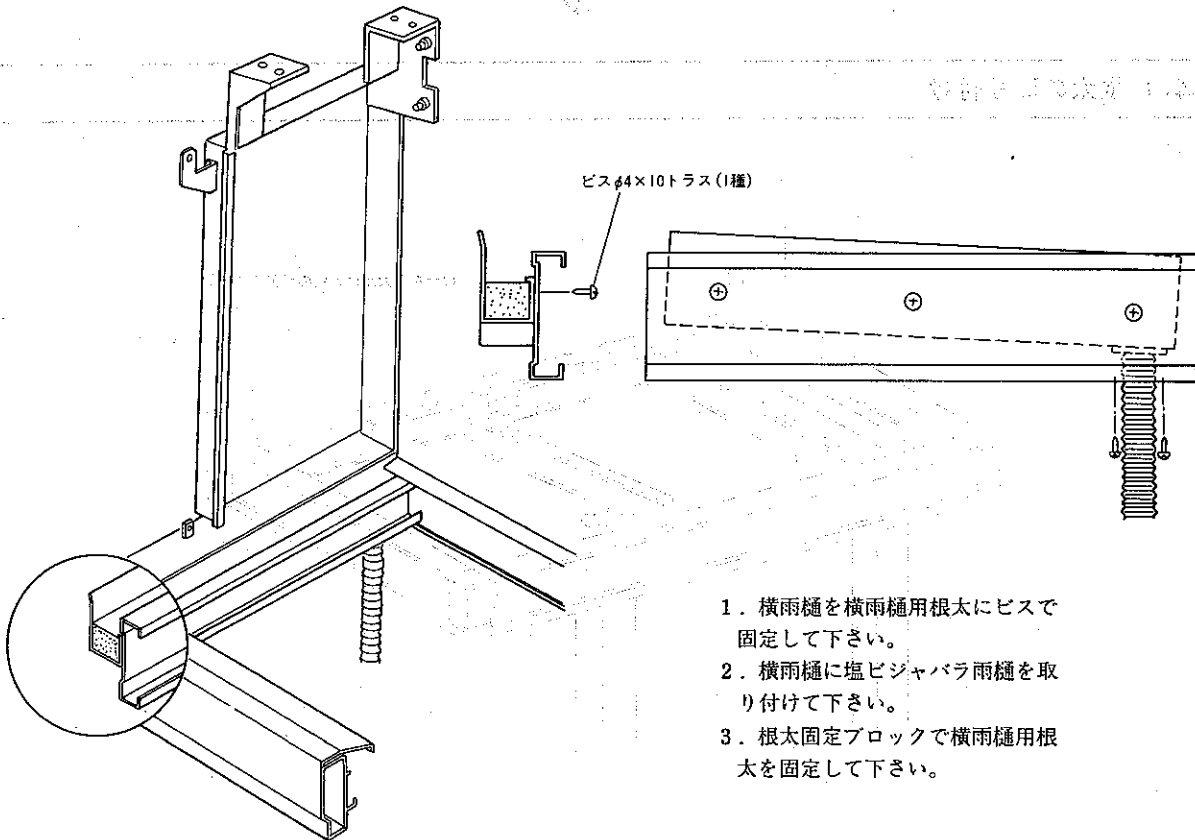


根太固定ブロックの取り付け方法

1. 根太に嵌め込む(向きにご注意ください。)
 2. スライドさせて根太がけの切欠きに差し込む。
- ※図の様に嵌合させてください。

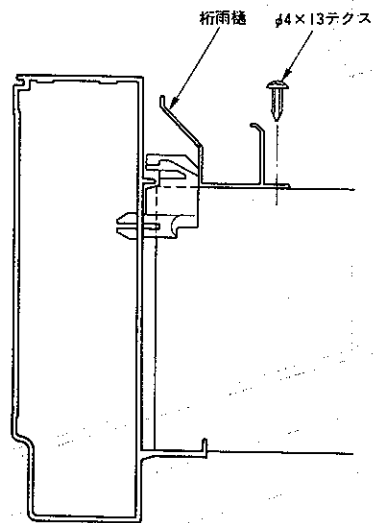


5 横雨樋の取り付け

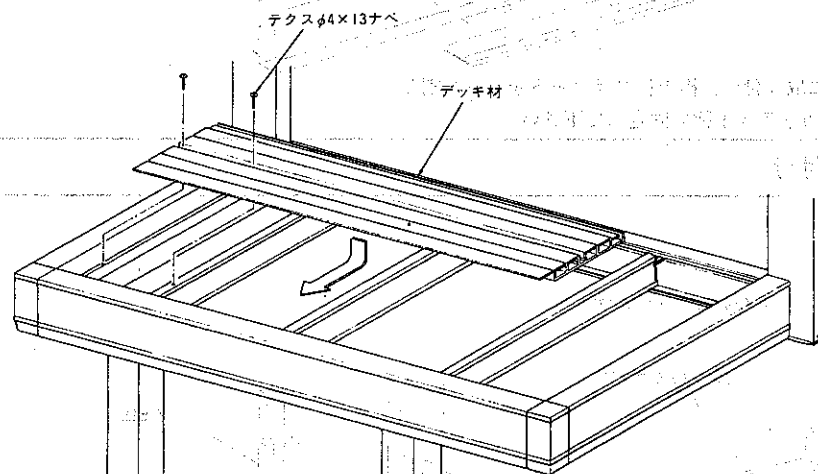


1. 横雨樋を横雨樋用根太にビスで固定して下さい。
2. 横雨樋に塩ビジャバラ雨樋を取り付けて下さい。
3. 根太固定ブロックで横雨樋用根太を固定して下さい。

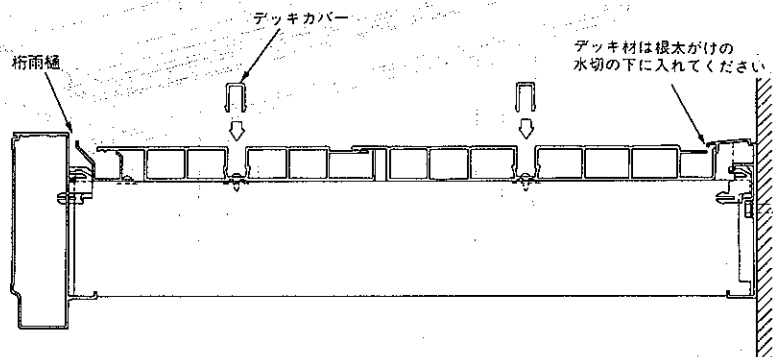
6 桁雨樋の取り付け



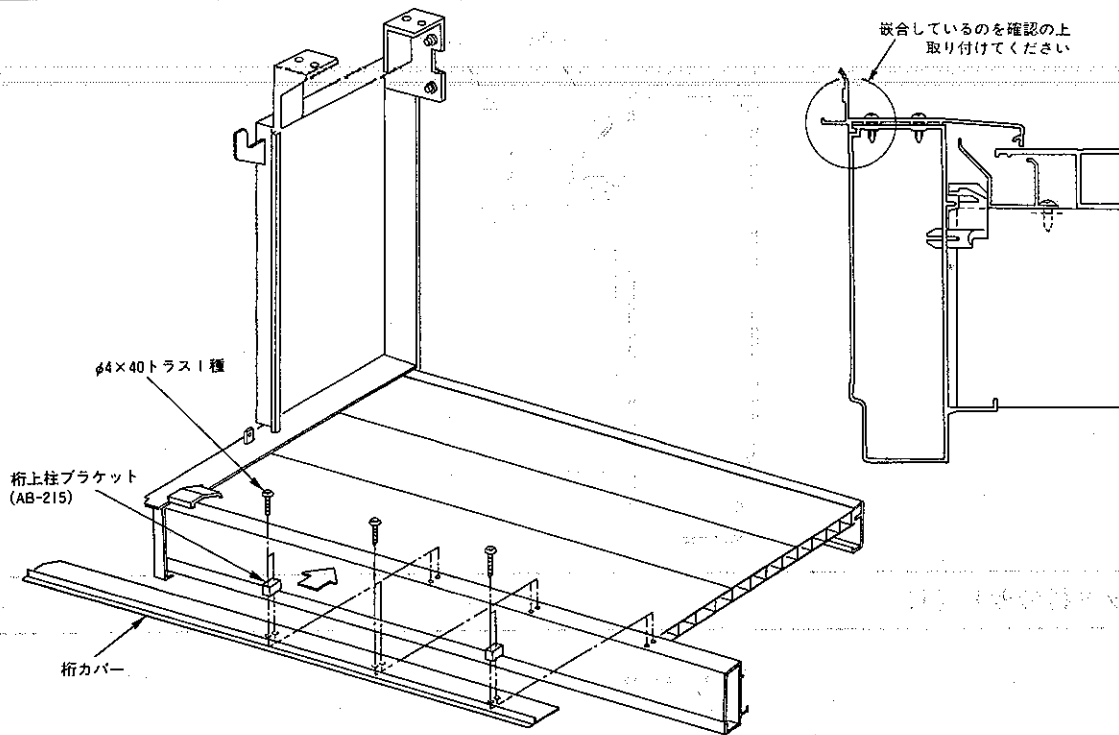
7 デッキ材の取り付け



1. デッキ材を桁側から順に敷いてください。
(200幅のデッキ材は躯体側に敷いてください。)

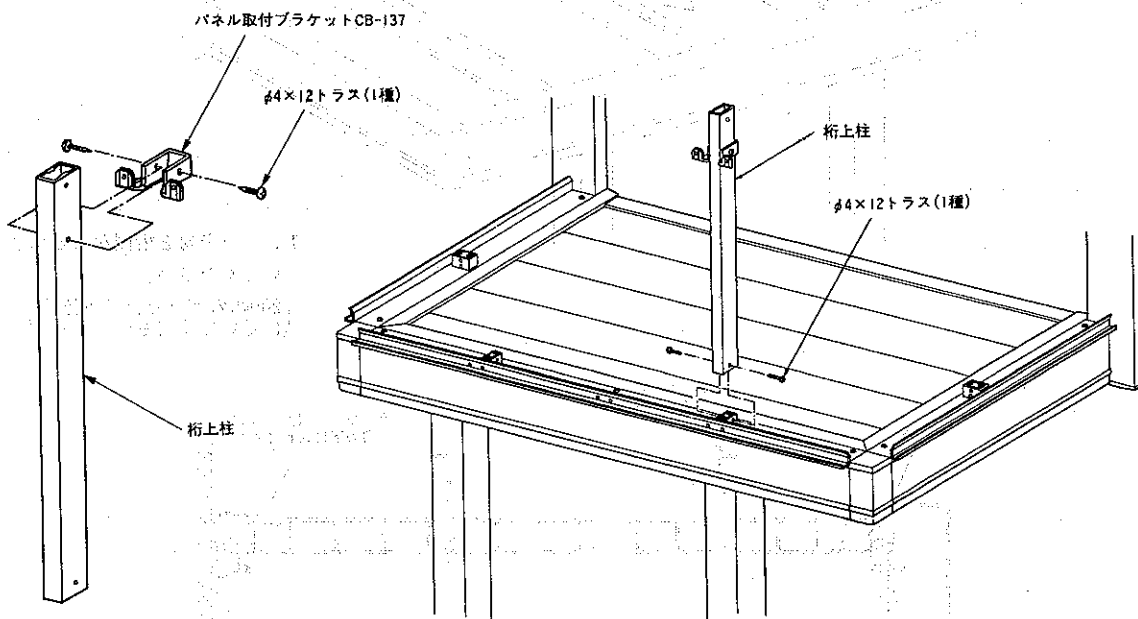


8 桁カバーの取り付け

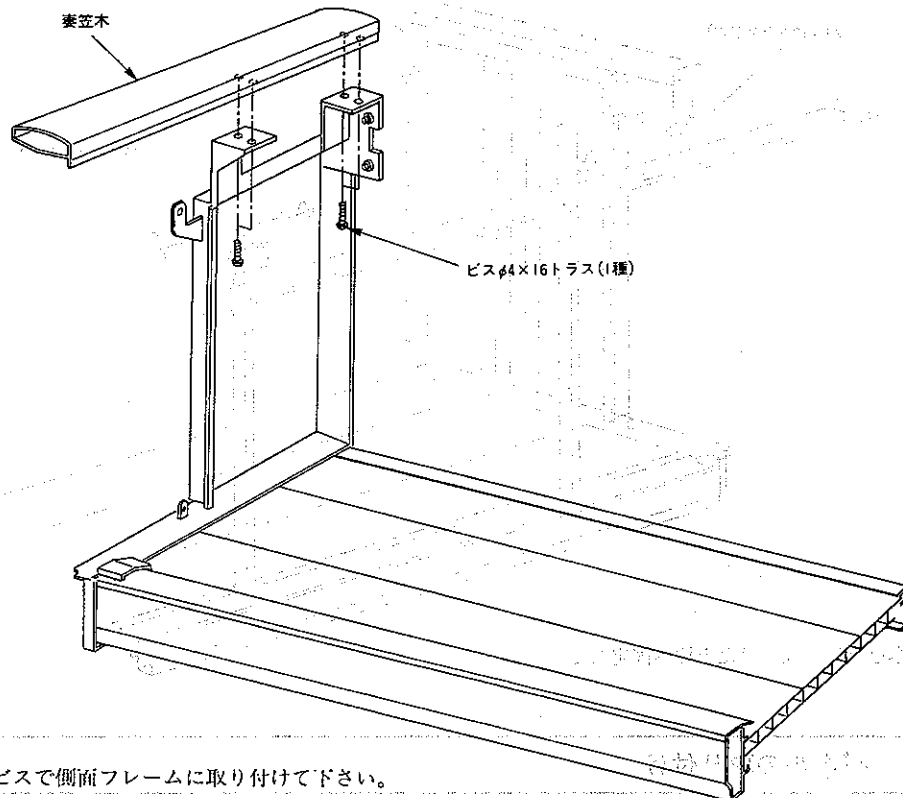


1. 桁カバーを桁に取り付け、桁上柱ブラケットをパネル割りに合わせてφ4×40トラス1種で固定して下さい。

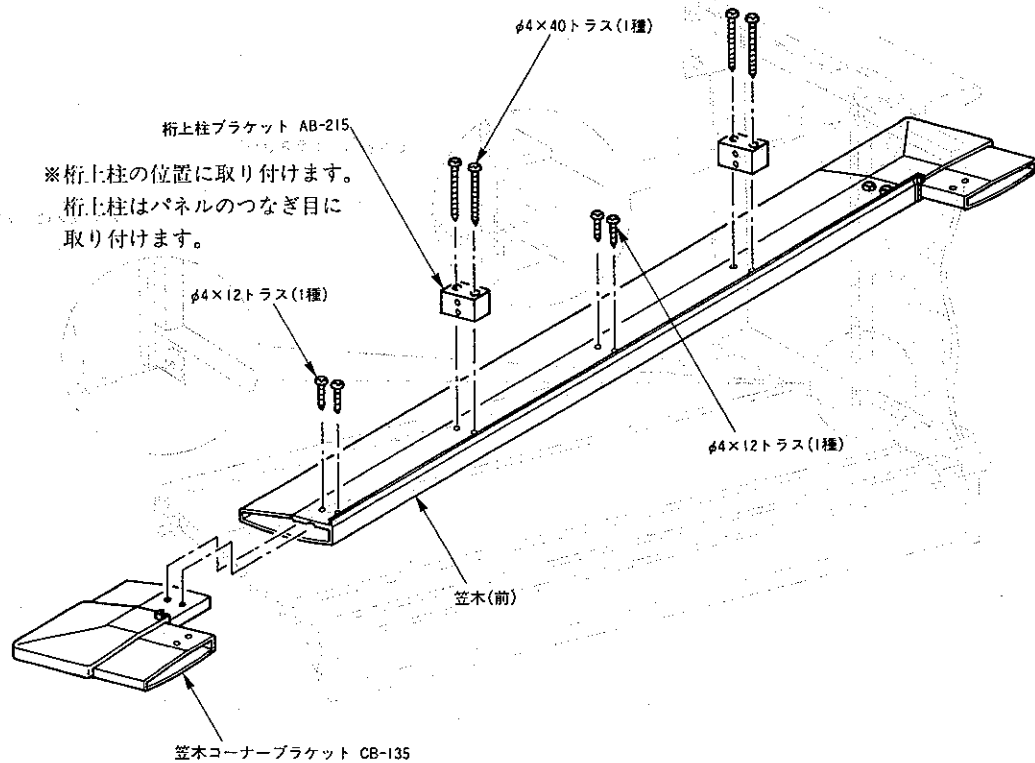
9 桁上柱の取り付け



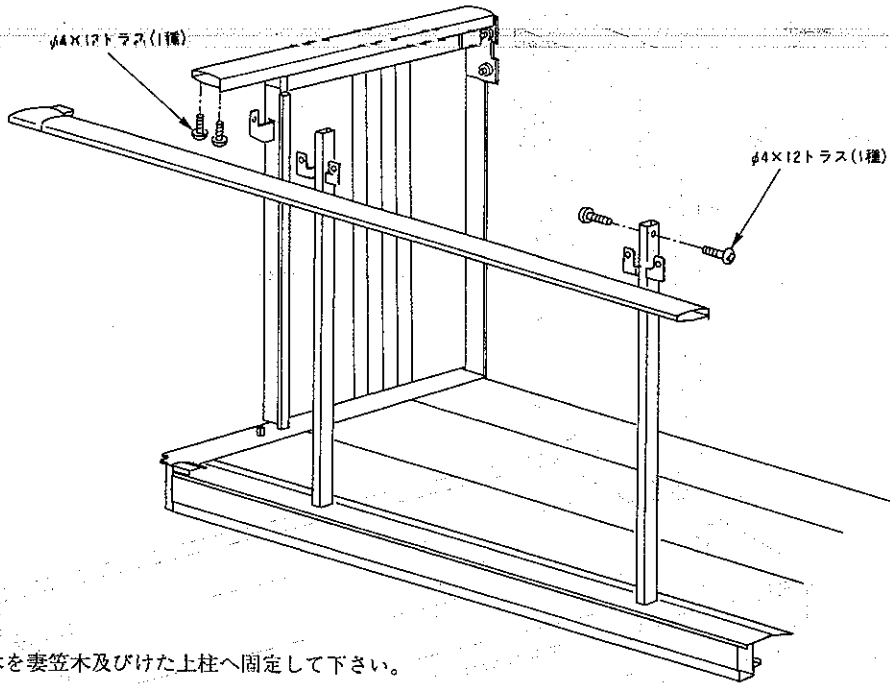
10 妻笠木の取り付け



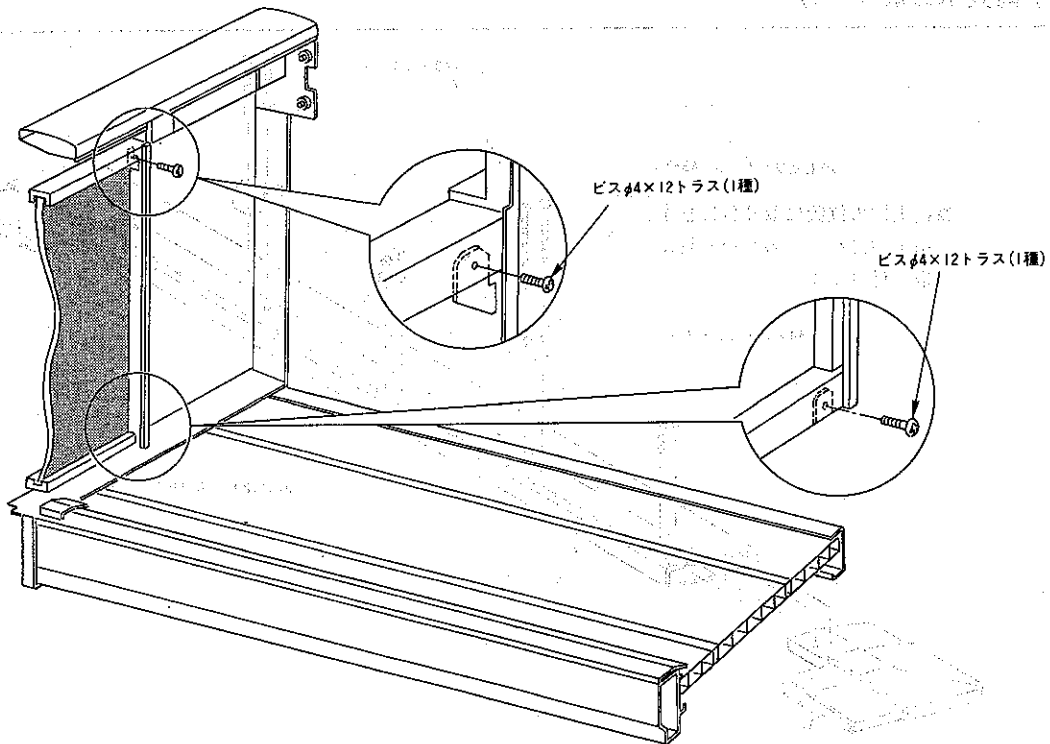
11-1 前笠木の取り付け



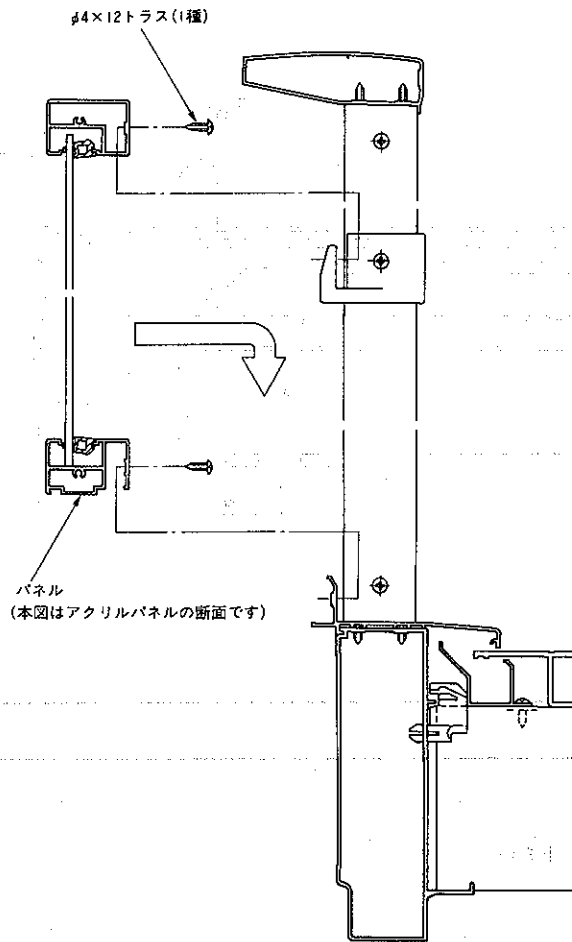
11-2 前笠木の取り付け



12-1 コーナーパネルの取り付け



12-2 前面パネルの取り付け



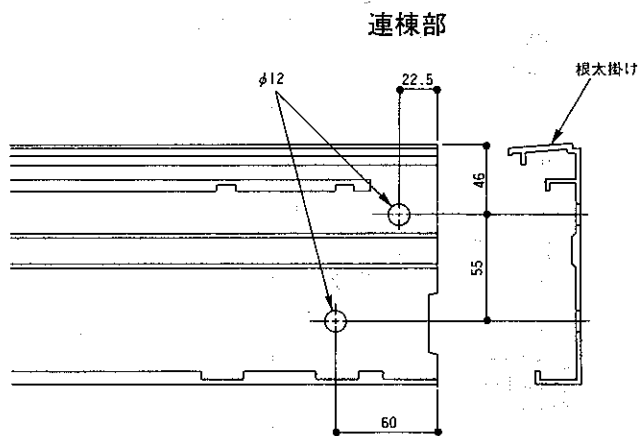
※全てのパネルを
建て込んでから
ビスで固定して
ください。

■ 連棟仕様の取付け

付録 1 取付け方法

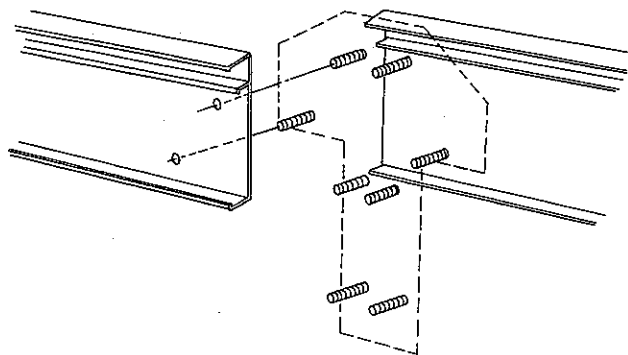
1 根太掛けの加工図

根太掛けの連棟部側に下記孔明け加工をして下さい。



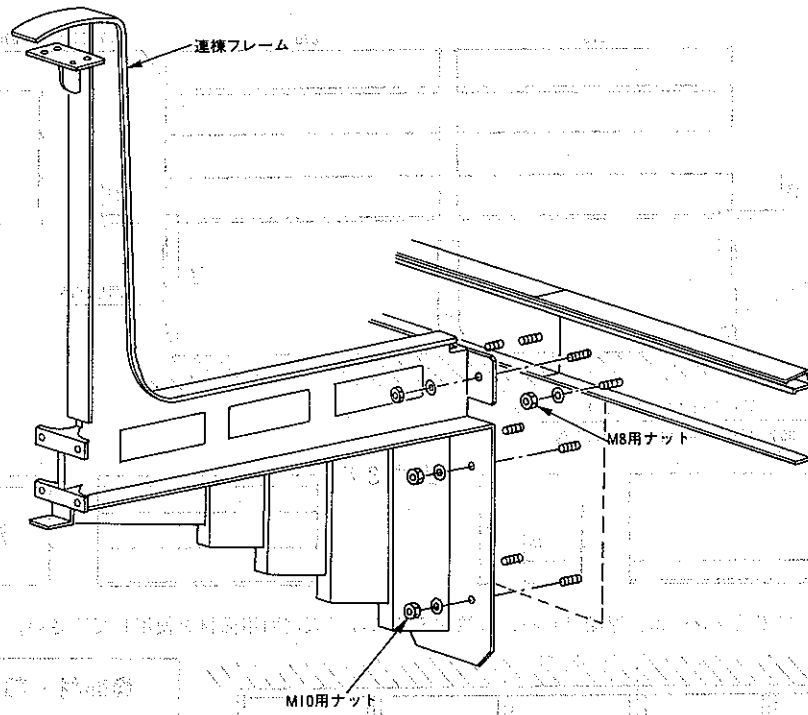
2 根太掛けの取り付け

根太掛けを取り付けて下さい。



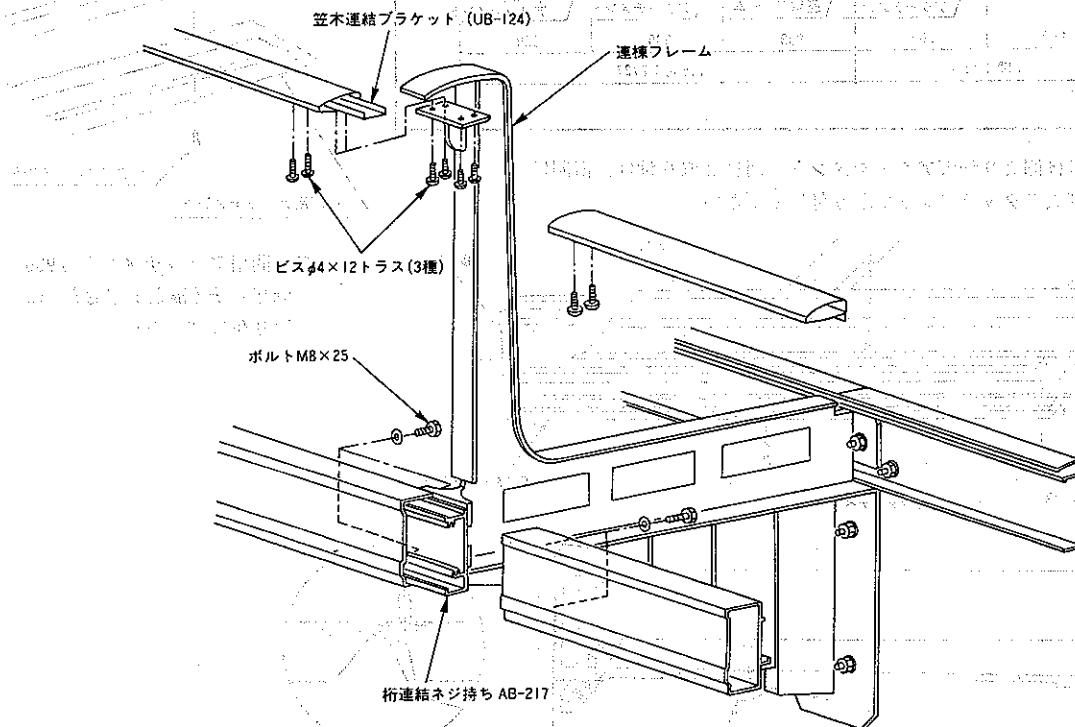
3 連棟フレームの取付け

取り付け部 取付部



連棟フレームをM10用ナットで固定して下さい。

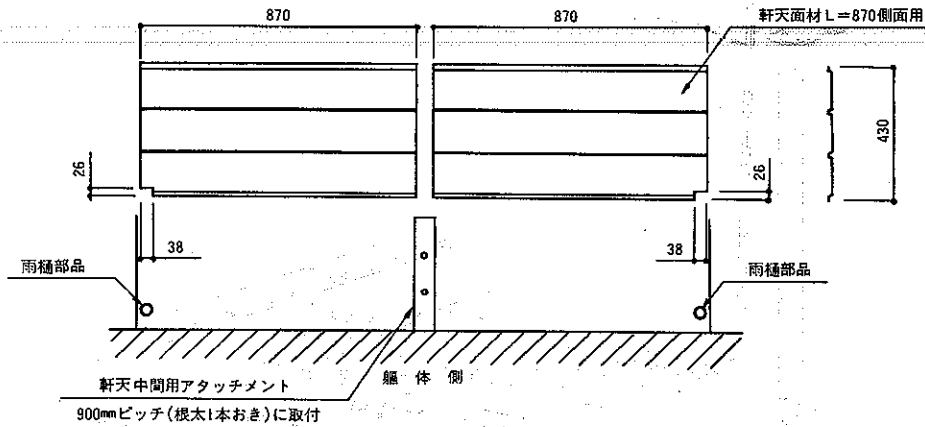
4 笠木・桁の取付け



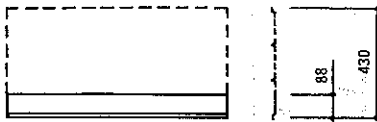
笠木は笠木連結ブラケットで連結し、桁は桁連結ネジ持ちで連結して連棟フレームに取り付けて下さい。

■ 軒天の取り付け

● 面材の加工



出幅 2 尺

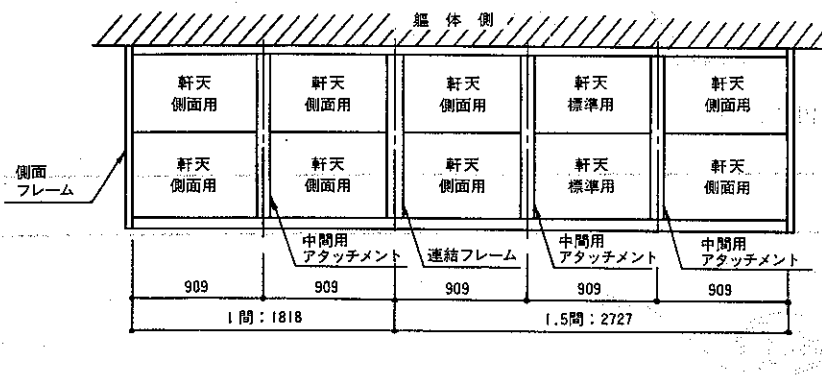


出幅 3 尺

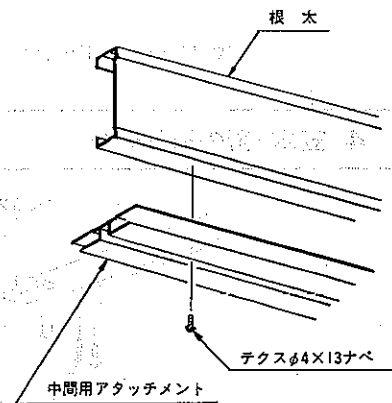


● 面材の割付

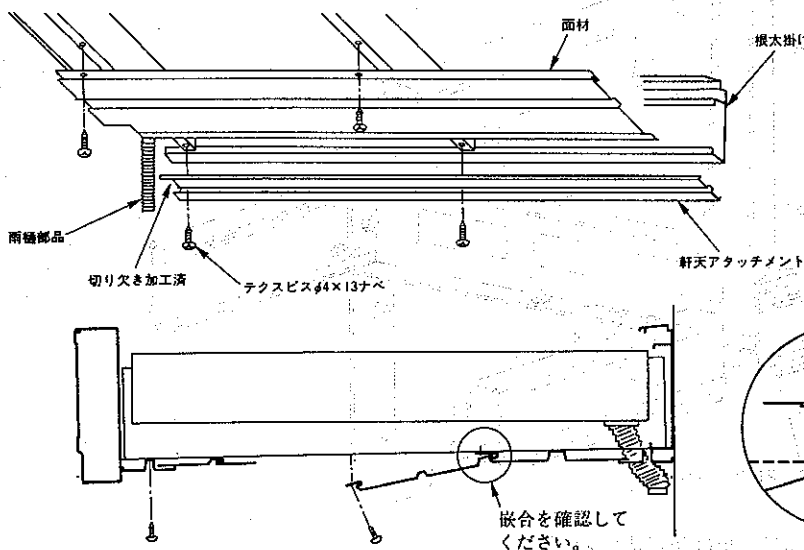
◎側面フレーム、連結フレームに接する側には軒天側面用面材を使用して下さい。



● 部材・部品の取り付け



根太掛け側より軒天アタッチメント、面材と取り付け、桁側はまた軒天アタッチメントで取り付けて下さい。

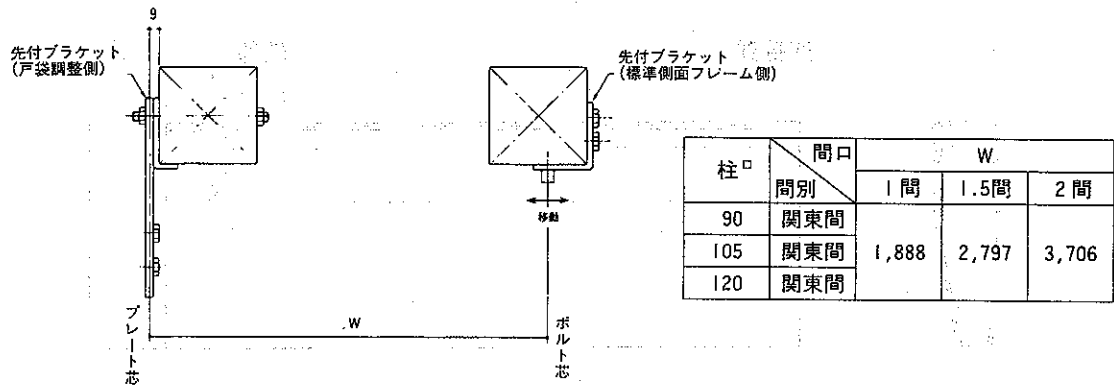


◎中間用アタッチメントは900mmピッチ(根太1本おき)に取り付けて下さい。

■ 戸袋仕様の取り付け

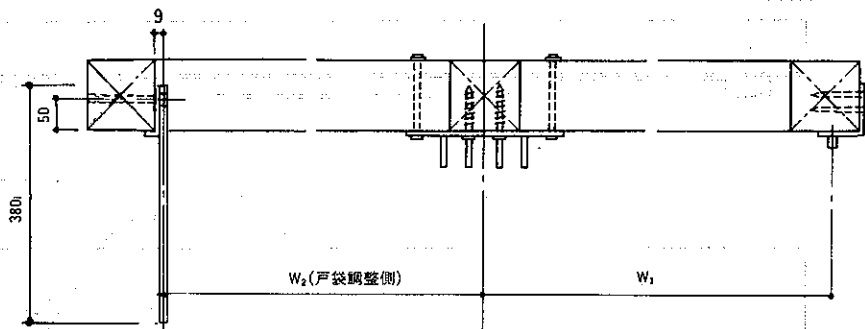
単体タイプ

単体タイプ、連結タイプとも取付いている先付ブラケットのピッチ (W) 及び取付状態を下図より確認してください。



切り詰めは発生しません。

連結タイプ



柱口	間別	W ₂ (戸袋調整側)			W ₁ (標準側面フレーム側)		
		1.0間	1.5間	2.0間	1.0間	1.5間	2.0間
90	関東間	1764	2673	3582	1843	2752	3661
105	関東間	1756.5	2665.5	3574.5			
120	関東間	1749	2658	3567			

戸袋調整側に切り詰めが生じます。次ページの加工図を参照願います。

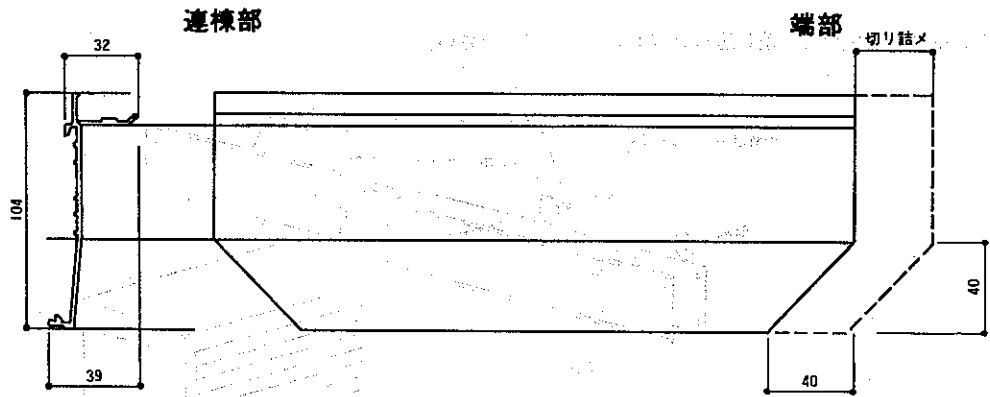
切詰寸法表

柱口	間別	1間・1.5間・2間
		90
105	関東間	66.5
120	関東間	74

部材の切詰加工図

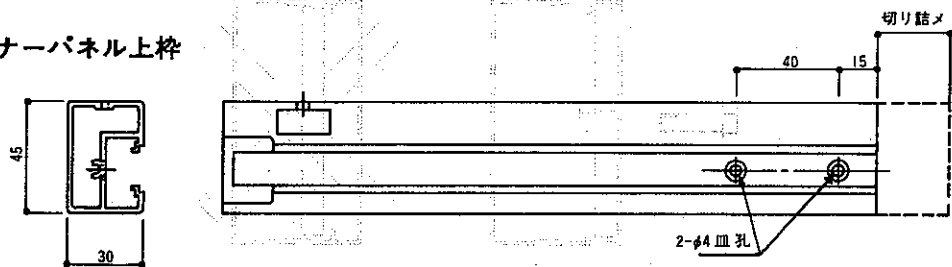
<p>笠木</p>	
<p>桁</p>	
<p>根太掛け</p>	

桁カバ

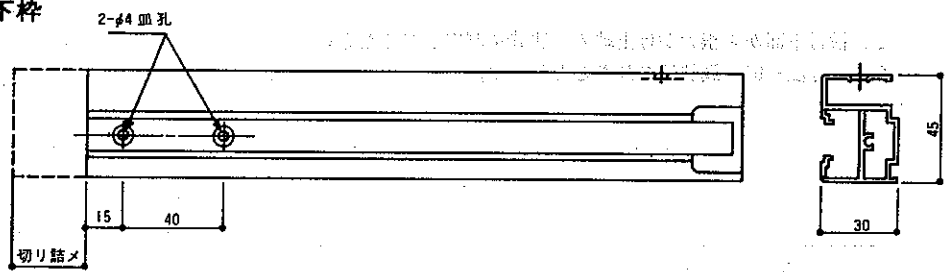


コーナーパネル

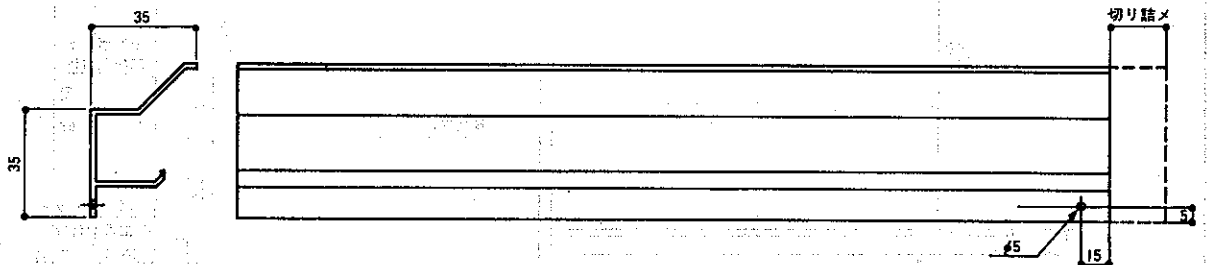
コーナーパネル上枠



コーナーパネル下枠

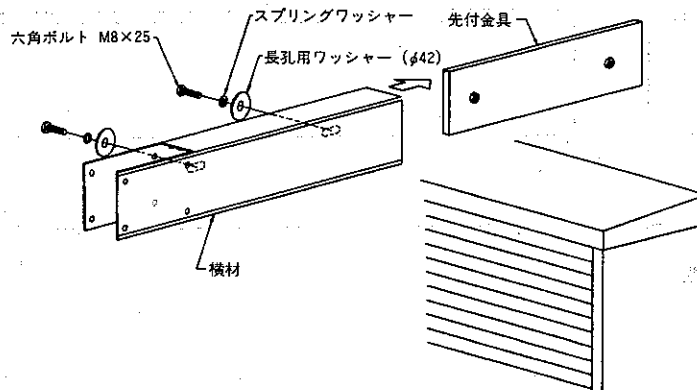


桁雨樋

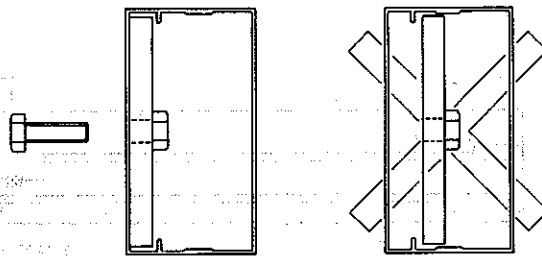


1 横材(戸袋調整)の取付

1. 横材を先付金具に差し込んでボルト締めしてください。

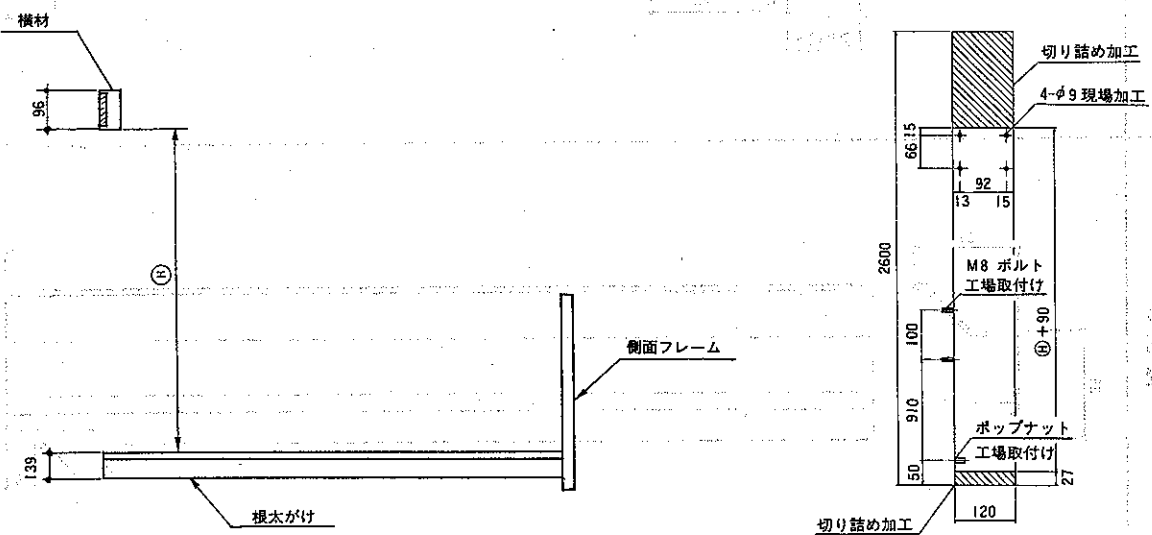


下図のように横材を先付金具はめ込んで下さい。



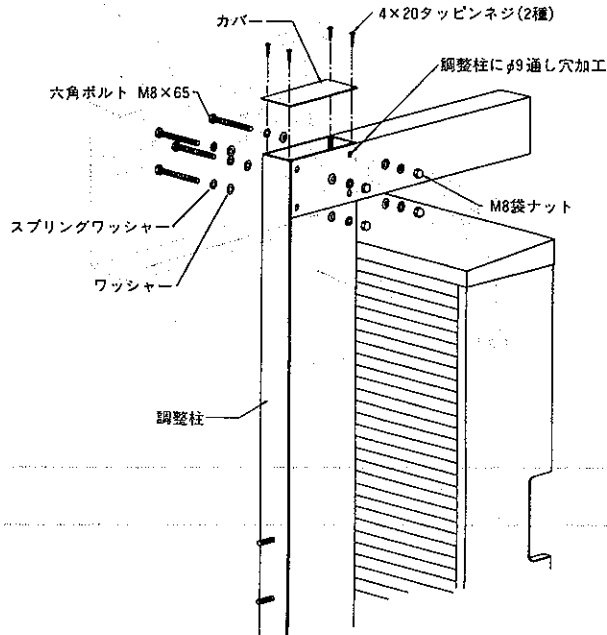
2 調整柱の切断寸法算出

1. 横材下面から根太がけ上端の寸法①を測定してください。
2. ①寸法+90=調整柱の長さとなります。

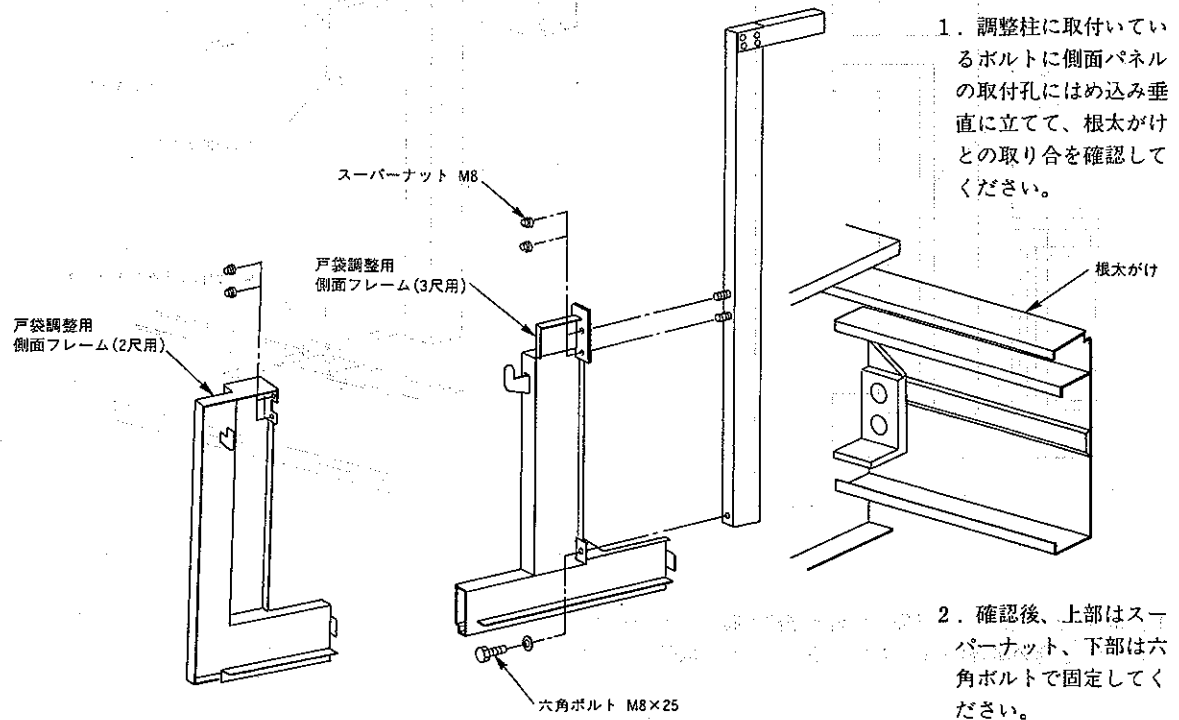


3 調整柱の孔明加工と取付

1. 横材に調整柱を差し込んで横材の加工孔に合わせてφ9の通し孔を明けてください。
2. 次に六角ボルトとナットで仮止してください。
3. カバーを調整柱に取付けてください。



4 戸袋調整用側面フレームの取付

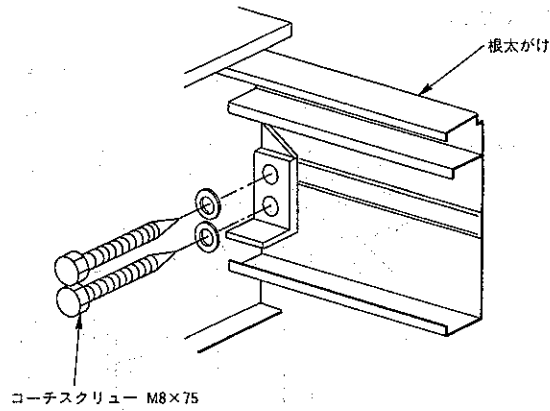


1. 調整柱に取付いているボルトに側面パネルの取付孔にはめ込み垂直に立てて、根太がけなどの取り合を確認してください。

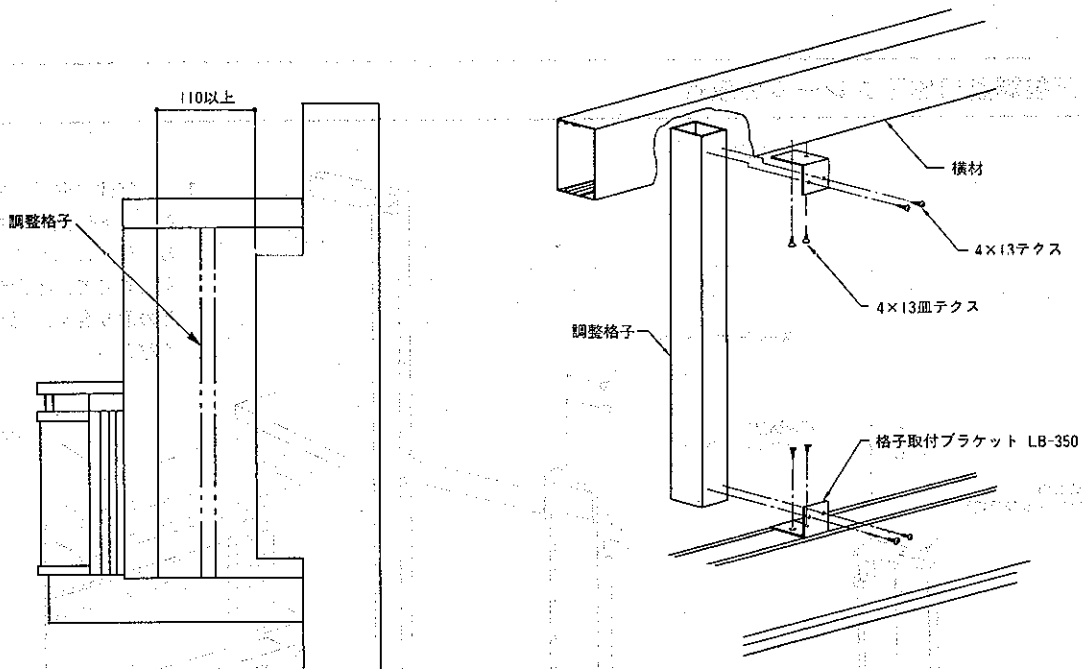
2. 確認後、上部はスーパーナット、下部は六角ボルトで固定してください。

5 側面フレーム(戸袋調整用)の躯体への固定

1. コーチスクリュー孔部より下孔を明けコーキング剤を充填しコーチスクリューで固定してください。



6 調整格子の取付



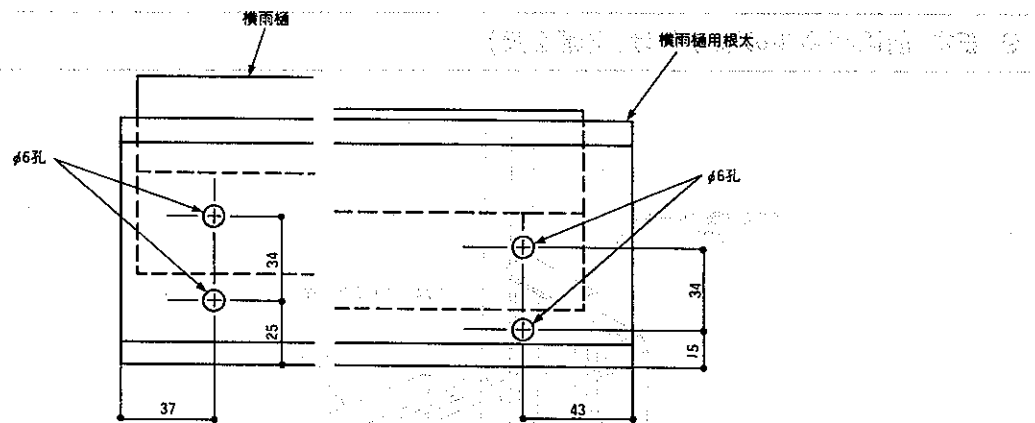
1. 組み上がりましたら戸袋と戸袋調整柱の間隔が110mm以上(両戸2枚建の場合)ある場合は調整格子を必ず取付けてください。

7 その他の取り付け

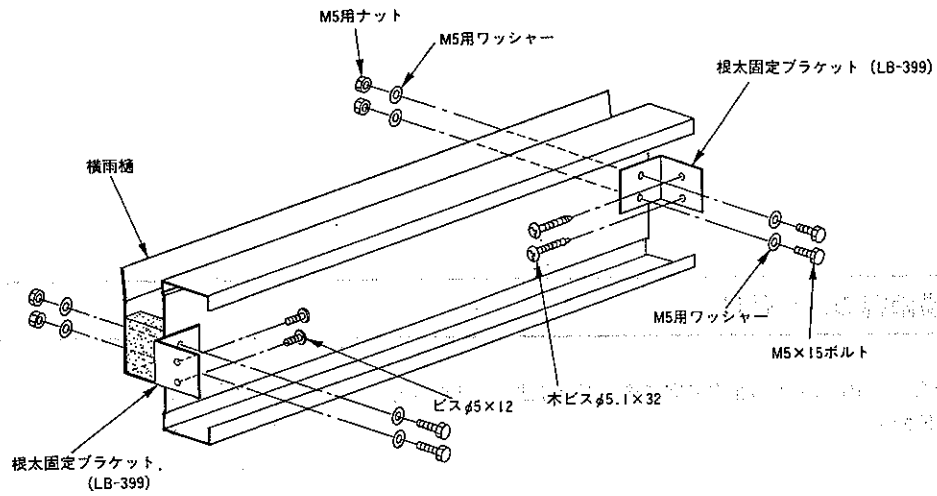
★側面フレーム及び桁から前面パネルの取り付けは、ウイングタイプ P34～P41を参照して下さい。

8-1 横雨樋の取り付け

横雨樋、横雨樋用根太の組立て完了後、下記寸法で $\phi 6$ 孔明けをして下さい。



8-2 横雨樋の取り付け



根太固定ブラケットを横雨樋に固定して根太へビスφ5×12、根太
掛け側へ木ビスφ5.1×12で固定して下さい。

9 笠木 前面パネルの取り付け(出幅2尺)

